



近年、都内（内地）の保健所では、トコジラミに関する相談が相次いで寄せられています。

小笠原においても、観光客の旅行荷物などに紛れて島内に持ち込まれ、宿泊施設等が被害にあう危険が考えられます。

トコジラミによる被害にあわないために、また被害を最小限に食い止めるために、対処方法のポイントをお伝えします。シーズンを迎えるにあたり、施設の点検や衛生管理の参考にしてください。

トコジラミってどんな虫？

シラミではなく、カメムシの仲間です。

成虫は5～8mm程度で、肉眼でも見分けることが比較的簡単です。ただし、昼間に成虫を見かけた場合は、すでにかなりの数が生息している可能性があります。

メスは生涯で200～500の卵を産みます。卵は約1週間で孵化し、1～2か月で成虫になります。

体型：丸く、扁平で薄い
色：濃い褐色



どんな被害があるの？

症状：夜間に吸血することが多く、寝ている人の腕や足、首などの露出している部分を刺します。非常に強いかゆみがありますが、初めて刺された方では症状が出ないこともあります。

営業上の損害：宿泊施設でお客様に被害があった場合は、クレームにつながり、場合によっては返金や訴訟などへの対応を余儀なくされます。
被害が拡大する可能性がある場合は、営業自粛も検討しなければなりません。

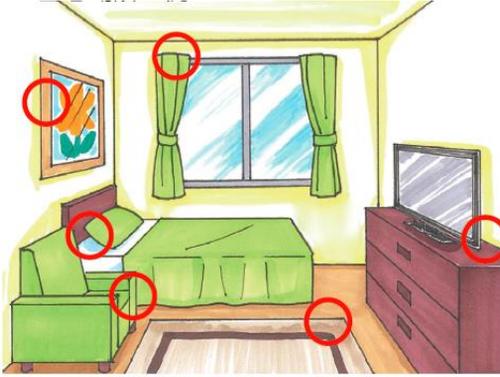
清潔にしていれば大丈夫？

トコジラミは、施設が不衛生だから発生するものではありません。不特定多数のお客様の出入りが多い宿泊施設では、常に持ち込まれる危険があります。早期発見・早期対策のためには、日々、客室清掃時の点検や整理整頓を行うことがとても重要です。出港中の期間を利用して、すみずみまで念入りに調べることも有効です。

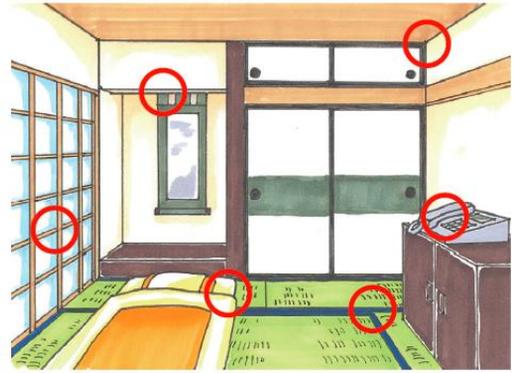
トコジラミの生息場所



「人の寝床に近い隙間」に生息し、夜間に出てきて吸血します



ベッドのヘッドレスト等の隙間、ベッドの裏、マットレスの中、カーテンの折り目の間、カーペットの下、ソファの隙間、家具と壁の間 など



布団やまくらの中、畳の縁、床・柱・壁・天井の隙間、押入れ、テレビ・電話等の電化製品の裏、障子、掛け軸の裏 など

○の部分が必要チェックポイントです。昼間は虫体が見つからないことも多いですが、「血糞 (けっぶん)」と呼ばれる、細かい黒いシミがあれば、トコジラミが生息している可能性が高いです。



畳の縁の血糞

トコジラミを見つけたときの対策は？

やっかいなことに、部屋の間隙に生息するトコジラミを自身の対策で完全駆除することは非常に困難です。専門業者に調査や駆除を依頼することが、結局のところ早期解決になります。そのうえで、業者が到着するまでの対策として以下の方法があります。

- ✓ 掃除の徹底：虫体や卵の数を減らすために、すみずみまで掃除機をかけます。
- ✓ 殺虫剤：必ずトコジラミに効果があると記載されている殺虫剤を選びます。くん煙殺虫剤（煙の薬剤を充満させるもの）はトコジラミに効果がなく、生息範囲を拡大してしまうおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ✓ 高温：熱処理できる衣類やカーテン、布団カバーなどは、60℃以上の熱湯に浸けるか、まんべんなくアイロンをかけると虫は死滅します。
- ✓ 廃棄処分：上記の処理が難しいもの、虫体や血糞の付着が多いものは、思い切って処分します。処分する際はビニール袋を二重にするなど、被害が拡大しないようにします。掃除機で吸い取ったものも、きつく密閉し速やかに処分します。

【問合せ先】

旅館業施設において、「トコジラミの虫体かもしれない」「血糞かもしれない」「効果のある殺虫剤の種類が知りたい」などのご相談は、**保健所までお問い合わせ**ください。 TEL：2-2951（ご来所の際も事前に電話予約をお願いします）